

環境教育WGのこれまでの活動報告

1 これまでの環境教育WGの活動

H19年度_現状把握(全数調査)

釧路湿原流域市町村の学校を対象とした調査を実施。
調査報告書としてとりまとめ、関係者に配布。

H20年度_情報提供(学校事例及び支援施設の情報集約)

小学校(5)中学校(2)、支援施設ほかの『学校対応』情報集約。
報告書としてとりまとめ、HPの作成、WEBを通じた情報掲載。
釧路圏を中心とした学校、関係者、施設等へ配布。

現状と課題

- ・釧路湿原流域圏で行われている学校での実践事例を把握。
- ・学校教育を支援することが可能な主だった施設、団体・機関等の情報を網羅。
- ・釧路湿原流域圏における面的な情報として学校、教育行政、施設等より評価を得ている。
- ・提供した情報の活用状況が把握できておらず、事業効果が不明。【課題】
- ・実践を促進する後押し(制度、研修、対面でのネットワーク)が必要【課題】

【参考データ】環境教育実践事例集へのアクセス件数等

環境教育実践事例集の情報を掲載したホームページサイト(<http://www.kushiro-ee.jp>)

『きづく わかる まもる 釧路湿原 ~学校と地域をつなぐ環境教育ガイド~』

- ・総アクセス数：4917件(2009/1/12~2009/6/13)
- ・日平均アクセス数：32件
- ・月毎の日平均アクセス数：1月51件、2月39件、3月29件、4月24件、5月27件

冊子等に関する問い合わせなど

学校、行政機関等より問い合わせを受けWEBサイトの案内のほか、要望に応じて冊子等を配布した。

問い合わせ内容例 -

- ・埼玉県の中学校ほか関東圏の学校より5件程度の問い合わせ。
- ・釧路管内の大学、小学校、中学校より5件程度の問い合わせ。そのうち、1件の小学校では、クラス単位での釧路湿原訪問が実現。
- ・釧路市観光振興室より発送物へのPRチラシ同封可否について問い合わせ。
- ・釧路市教育委員会生涯学習課、北海道農政部農村振興局等、行政機関より事業の参考として有益との声。
- ・北見工業大学、山口大学、北海道立図書館等より冊子送付依頼。